

## 大規模共通ストレージシステム(第1世代) 運用に関するお知らせ (更新)

スーパーコンピューティングチーム

東京大学情報基盤センター(以下「当センター」)におきまして、当センターで運用する各スーパーコンピュータシステムからアクセス可能なストレージシステム:大規模共通ストレージシステム(第1世代)(Ipomoea-01)を2022年6月からサービス運用いたします。ここでは、ご利用に際して必要な手続き及び負担金をお知らせいたします。なお、運用開始までに、予告なく運用仕様の変更を行う場合がありますので予めご了承ください。

### 1. 利用申込みについて

ご利用になるための利用申込み方法の詳細は当センター Web ページもご参照ください。Ipomoea-01 をご利用になる場合には、当センターのスーパーコンピュータシステム Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 をすでにご利用かどうかにより、Ipomoea-01 の利用申込み手続きが必要なケースがあります。なお、Ipomoea-01 におけるディスク容量追加手続きは可能ですが、スーパーコンピュータシステムにユーザ ID を有するかに係わらず、容量追加のための手続きが別途必要になります。

#### 1.1 2021 年度末に Oakforest-PACS にユーザ ID を有していなかった利用者、または、2021 年度末に Oakforest-PACS にユーザ ID を有していたが、Oakforest-PACS のファイル移行サービスを希望しなかった利用者

- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を有する場合  
**利用申し込み手続きは不要です。**ご利用のユーザ ID で Ipomoea-01 を利用できます(教育利用、講習会を除く)。
  - 利用者ごとの領域に 5 TB の無償分のディスク容量を付与します。
  - 登録されているスーパーコンピュータシステムで付与されているグループのディスク容量の 15 %を各プロジェクトコードのグループごとの領域として無償で付与します。(トークン移行先のシステムを除く)
- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を持たない場合  
**利用申し込み手続きが必要です。**無償分のディスク容量は設定されません。

#### 1.2 2021 年度末に Oakforest-PACS にユーザ ID を有しており、ファイル移行サービスを希望した利用者

- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を有する場合  
**利用申し込み手続きは不要です。**ご利用のユーザ ID で Ipomoea-01 を利用できます(教育利用、講習会を除く)。
  - 利用者ごとの領域に 5 TB の無償分のディスク容量を付与します。
  - 移行を希望したグループごとの領域に 5 TB の無償分のディスク容量を付与します。ただし、トークン移行により Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 のどちらかに同プロジェクトコードのグループが存在する場合は、グループごとの領域への付与ディスク容量は、登録されているスーパーコンピュータシステムで付与されているグループのディスク容量の 15% とします。
  - 登録されているスーパーコンピュータシステムで付与されているグループのディスク容量の 15 %を各プロジェクトコードのグループごとの領域として無償で付与します。(トークン移行先のシステムを除く)
- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を持たない場合  
**利用申し込み手続きは不要で、Oakforest-PACS のユーザ ID で 2022 年 11 月 30 日までは無償でご利用いただけます。2022 年 12 月 1 日以降も移行したファイルを利用するためには有償の利用申し込み手続きが必要です。**
  - 利用者ごと、移行を希望したグループごとの領域に 5 TB の無償分のディスク容量を付与します。
  - 2022 年 11 月までに継続利用の申し込みがない場合、2022 年 12 月以降にファイルは削除されます。

## 2. 利用負担金について

Ipomoea-01 をご利用になる場合の利用負担金について、利用者様への運用を開始する 2022 年 6 月以降発生する予定です。

### 2.1 2021 年度末に Oakforest-PACS にユーザ ID を有していなかった利用者、または、2021 年度末に Oakforest-PACS にユーザ ID を有していたが、Oakforest-PACS のファイル移行サービスを希望しなかった利用者

- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を有する場合  
無償分のディスク容量の範囲でご利用の場合、負担金は発生しません。別途 Ipomoea-01 でのディスク容量の追加手続きを行った場合に、**追加分の利用負担金が発生します。**
- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を持たない場合  
**利用申し込みディスク容量に対する負担金が発生します。**

### 2.2 2021 年度末に Oakforest-PACS にユーザ ID を有しており、ファイル移行サービスを希望した利用者

- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を有する場合  
利用者ごとの領域については、無償分のディスク容量の範囲でご利用の場合、負担金は発生しません。移行を希望したグループごとの領域については 2022 年 11 月まで負担金は発生しません。**2022 年 12 月以降も移行を希望したグループごとの領域を利用するためには有償の利用申し込み手続きが必要です。**別途 Ipomoea-01 でのディスク容量の追加手続きを行った場合に、**追加分の利用負担金が発生します。**
- 2022 年度 Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 にユーザ ID を持たない場合  
2022 年 11 月まで負担金は発生しません。2022 年 12 月以降は**利用申し込みディスク容量に対する負担金が発生します。**

### 3. 運用開始後のサービスについて

#### 3.1 ログインノードサービス

データ転送やそのためのツールを利用するための環境として、ログインノードを複数台用意する予定です。ログインノードは、当センターでサービスを行っている他のスーパーコンピュータシステムと同様に、公開鍵認証方式による接続となります。鍵登録の方法や、接続ホスト名などの詳細については、当センター Web ページや Ipomoea-01 利用支援ポータルにてお知らせいたします。

#### 3.2 システムの利用イメージ

Ipomoea-01 のご利用イメージは、おおよそ図 2 の通りです（ただし、以下の図は、スーパーコンピューティングニュース原稿作成時のものです。今後の検討状況によっては、変更する場合があります）。

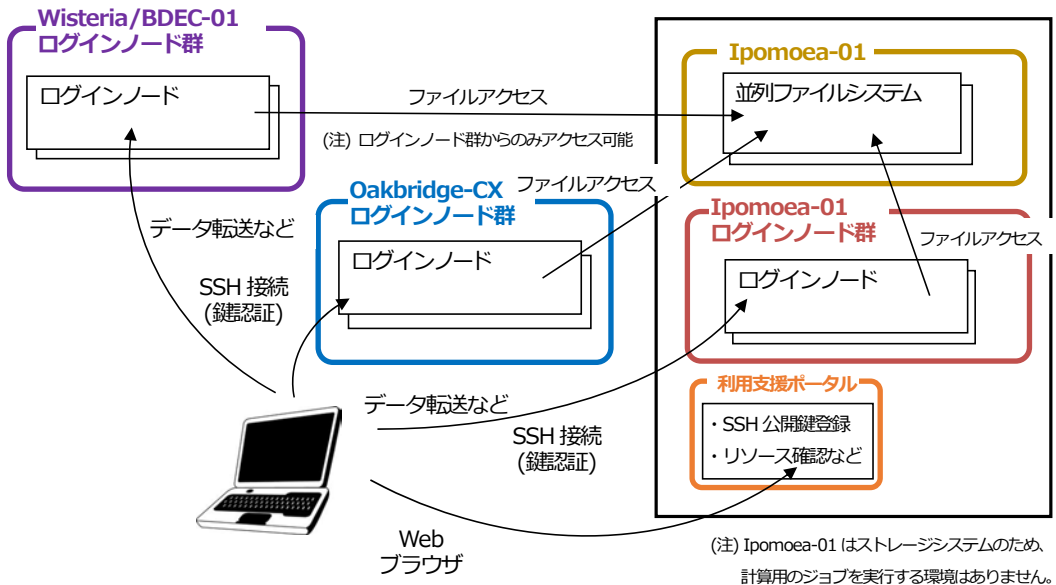


図 2. システムのご利用イメージ

#### 3.3 ファイルシステム

ファイルシステムは、システム構成図（図 1、図 2、表 1）にある通り、並列ファイルシステムのみで構成されます。並列ファイルシステムは DDN 社製の Lustre ベースの DDN EXAScaler で提供されます。主に以下の 2 つのディレクトリにファイルを保存することができ、Ipomoea-01 のログインノード群からだけでなく、Oakbridge-CX、Wisteria/BDEC-01 のログインノード群からもファイルアクセス（ファイルの読み込み、書き込み）が可能のように設定する予定です。その他、詳細については当センター Web ページや Ipomoea-01 利用支援ポータルにてお知らせいたします。

- `/home/ユーザ名(ユーザ ID)` : 利用者ごとの領域
- `/work/グループ名(プロジェクトコード)` : グループごとの領域

#### 4. その他

最新の情報は、当センター Web ページ (<https://www.cc.u-tokyo.ac.jp>) にて随時ご案内いたします。メールによる問い合わせについては、事前に Web ページで情報がないかご確認の上、受付窓口 [uketsuke@cc.u-tokyo.ac.jp](mailto:uketsuke@cc.u-tokyo.ac.jp) までお願いいたします。